

北 上山地を背に太平洋に臨む久慈市は「北限の海女」の町として知られ、中心部は久慈湾の奥に位置。市内には国家石油備蓄基地があり、この作業用トンネルを利用して建設されたのが日本唯一の地下水族科学館「もぐらんぴあ」。

震災に伴う津波で施設は全壊しましたが、平成28年(2016)に元の場所再開設。現在は再開を応援してくれた「さかなクン」が育てた魚やグッズの展示コーナーや、三陸の海を再現した「久慈の海水槽」があります。この水槽では、土・日曜、祝日限定で南部もぐりや北限の海女の素潜り実演を実施。震災を生き抜いたアオウミガメ「かめ吉」も、トンネル水槽で元気に泳いでいます。3階の防災展示室「あーすびあ」では、施設の被災状況や復旧の歩み、そして防災への備えといったテーマで、壁や床に映し出す映像、震災当時の写真などを使いながら紹介しています。



3階防災展示室「あーすびあ」では、室内の半分を使って薄暗い3.11の空を再現し、津波の映像などを見られる。館長による語り部プログラムは1週間前までに要予約(料金・日時は要相談)



東日本大震災を機にもぐらんぴあの応援団長になったさかなクン。育てた魚やイラスト、オリジナル商品、マスコットキャラクターの「もぐちゃん」や「かめ吉」の商品も販売している



約200種3000匹を展示。NHK連続テレビ小説「あまちゃん」で有名になった「南部もぐり」の潜水実演と「北限の海女」の素潜り実演を目の前で楽しめる。伝統的な潜水や素潜り技術を見学しよう

久慈市

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

●東日本大震災を乗り越え復活した水族館



最大震度 5弱

浸水面積 4km²

最大浸水深 15.45m



全壊 65棟

半壊 213棟

一部損壊 339棟

死者 4人

行方不明者 2人

負傷者 10人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

その他

(水族館)

施設ガイド

音声ガイド

語り部あり

車椅子OK

※要予約

施設DATA

●くじちかすいぞくかがくかん もぐらんぴあ

久慈地下水族科学館 もぐらんぴあ

☎0194-75-3551 MAP P112E1

①久慈市侍浜町麦生1-43-7

②三陸沿岸道路久慈北ICから車で8分

🕒9～18時(11～3月は10～16時)

🌞月曜(祝日の場合は翌日)

🎫700円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、

未就学児無料

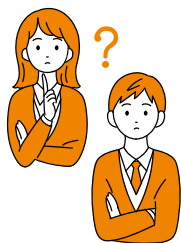
🅐あり(大型バス:あり)

<https://www.moguranpia.com>



考えてみよう

Q1 「もぐらんぴあ」のアイドル的存在で「もぐらんぴあ」の復興の象徴であるアオウミガメの「かめ吉」。なぜそのようなよばれるのでしょうか?



A1 震災により展示されていた魚介類はほとんど亡くなってしまったが、「かめ吉」は奇跡的に生存が確認された。青森の水族館への避難を経て、もぐらんぴあの復活に伴い戻った。